

鏡川流域パートナーシップだより No.15 R4.9.1



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

第7回鏡川写真コンテストの応募作品を募集しています！締切は9月14日(水)です。

「鏡川をみんなで写し みんなで選ぼう」をコンセプトに、「第7回市民が選ぶ鏡川写真コンテスト 2022」を開催します。鏡川の風景を中心に、鏡川周辺での出来事や生活など、鏡川に関する写真を撮影し、ご応募ください。応募作品はイオンモール高知で展示し、来場した市民の投票で入選を決定します。入選者と、投票した方には抽選で賞品を授与します。

募集部門

- ①一般部門 …どなたでもどんなカメラでも参加できる部門
- ②環境問題部門 …鏡川的环境について考えさせられる写真
- ③スマホ部門 …スマートフォン・携帯電話のカメラで撮影した写真
- ④キッズ部門 …小・中学生が撮影した写真

応募期間

2022年8月8日～9月14日 ※当初より応募の締切が延長になりました。



第5回入選作品抜粋 ↓

応募などの詳細はこちらのQRコードから、市民が選ぶ鏡川写真コンテストHPをご確認ください。↑



「夏のDigi 田甲子園」の受賞団体が発表されました！



受賞団体発表

各都道府県の地区予選を突破した
“総勢159件”もの取組・アイデアについて、
《国民の皆様によるインターネット投票》と
《有識者による審査会》によって、
4部門の**優勝・準優勝・ベスト4**を決定！

【投票総数】(7/12～8/15)
24,216票

《有識者審査会》
・栗田 浩司 高知大学 名誉教授
・木田 尚樹 高知大学 名誉教授
・高橋 孝雄 高知大学 名誉教授
・竹中 平雄 高知大学 名誉教授
・野村 浩一 高知大学 名誉教授
・藤原 大輔 高知大学 名誉教授
・松本 文彦 高知大学 名誉教授

地方公共団体によるデジタル技術を活用した地方創生の取組を募集し、投票を行う「夏のDigi 田甲子園」の受賞団体が発表されました。

残念ながら本市は受賞とはなりませんでしたが、高知大学学生サークル等課外活動団体「あだたん!!!!」と「高知大学演劇研究会」の学生さんに制作していただいた鏡川清流保全についての紹介動画は、応募総数 159 件の中でも特にユーモアとエネルギーと熱意がみながる素敵な作品だと思います！動画制作を通じて、まちのコイン「ぼっちり」を活用しながら実際に中山間地域や加盟店舗を訪れ、鏡川の上流から下流まで多くの方々と交流を深め、積極的に活動して下さった学生の皆さんには感謝でいっぱいです。

また、投票や動画の視聴などにご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます。現在も動画の視聴はできますので、学生さんの力作をぜひご覧ください！



←動画の視聴や受賞団体などの詳細はこちらのQRコードから、夏のDigi 田甲子園HPをご確認ください。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android